



# TCA ニュース

= 2010年 5月発行 = 【No. 234】

発行 東京サイクリング協会 広報委員会

<http://tokyo-cycling.web.infoseek.co.jp> 〒104-0061 中央区銀座7-15-11-1201 Tel・Fax 03-3541-6540

サイクリストの五楽 ①輪楽・自転車を楽しみ ②行楽・旅を楽しみ ③道楽・道を楽しみ ④友楽・友を楽しみ ⑤遊楽・遊びを楽しむ

## 2010年度 活動計画

○印はTCA独自で行なう事業

4月 4日(日)	○第68回 「視覚障害者とタンデムを楽しむ集い」 (神宮外苑)
4月10日(土)	○館林市サイクリングターミナル前泊
4月11日(日)	渡良瀬ミーティング
4月13日(火)	○第34回 理事会
4月19日(月)	○第17回 評議員会、第35回 理事会 (文京区民センター)
4月24日(土)	○キャンプ 若洲海浜公園
4月25日(日)	○バーベキューサイクリング 若洲海浜公園
5月 4日(祝)	○第7回東京センチュリーライド (大島小松川公園)
5月 9日(日)	○第69回 「視覚障害者とタンデムを楽しむ集い」 (パレス)
5月23日(日)	自転車月間行事 (14th ツア・オブ・ジャパン) 立哨協力
6月20日(日)	○第70回 「視覚障害者とタンデムを楽しむ集い」 (パレス)
6月 日(土)	○立川バンク ピストトライアル (立川競輪場)
7月 日(土) ~ 日(日)	○TCA一泊ラン
7月 日( )	○自転車をもっと好きになる講習会
8月 日(日)	○第77回 フリーラン『東京いいところ自転車散歩』
8月29日(日)	○第71回 「視覚障害者とタンデムを楽しむ集い」 (神宮外苑)
9月 4日(土)~5日(日)	2010 Mt. Fuji エコ・サイクリング (山中湖)
9月19日(日)	2010 東京シティサイクリング 実施協力
9月25日(土)~26日(日)	第46回 関東甲信越ブロックサイクリングラリー (新潟・上越)
10月 2日(土)~3日(日)	第54回 全国サイクリングラリー in 奈良
10月10日(日)	都民スポレクふれあい大会「荒川ハーフセンチュリー」
10月31日(日)	○第72回 「視覚障害者とタンデムを楽しむ集い」 (パレス)
11月 日( )	○第78回 フリーラン『東京いいところ自転車散歩』
12月 日( )	○2010年を送る『TCAサイクリストの夕べ』
1月 日( )	○第79回 フリーラン『東京いいところ自転車散歩』 (新春初詣ラン)
2月 日( )	○自転車をもっと好きになる講習会
3月 日( ) ~ 日( )	○TCA一泊ラン

◎その他の行事  
 毎週日曜日・祝日 神宮外苑サイクリング道路に協力  
 毎週日曜日 パレスサイクリング に協力  
 東京シティサイクリング実行委員会に委員派遣  
 毎月第2火曜日 常任委員会開催

※その他、以下の関係諸団体に担当理事が出席。

◎(財)日本サイクリング協会 関東甲信越ブロック連絡会議TCA代表

◎(社)東京都レクリエーション協会 TCA代表

【4月末現在 会員数341名】

# 2009年度決算報告

平成21年4月1日 ～ 平成22年3月31日

【収入の部】		【支出の部】	
前期繰越金	1,486,036	事業所費 (50,000×12) (*2)	600,000
会費 (5,000×383名) (*1)	1,915,000	保険料 (1,580×411)	649,380
不足 1,000×36名	-36,000	J C A 賛助会費 (420×411)	172,620
10月以降の入会 (4,000×13名)	52,000	ニュース発行費 (印刷、発送) (No. 224～No. 233 10回)	414,770
1月以降の入会 (2,000×15名)	30,000	事務費	68,974
移動 2,000×10名	20,000	会議費 (会場費他)	85,621
		交通費	266,580
インストラクター登録更新料 (対象者 20名)	60,000	インストラクター登録更新料	40,000
事業収入	2,892,316	備品 (タンデム車購入)	160,000
J C A 補助金	300,000	事業支出費	2,764,223
I B M 補助金	100,000	通信費 (郵便、電話、インターネット他)	119,222
寄付	50,560	振込手数料	9,670
雑収入 (物品売却益他)	4,550	団体加盟費 都レク	20,000
利息	271	ブロック協議会	5,000
		交際費	67,990
		繰越金	1,430,683
合計	6,874,733	合計	6,874,733

(\*1) : 会費は、入会月 (10月以降、翌年1月以降) により変わります。

(\*2) : 貸倉庫費用 (20,000×12ヶ月) を含みます。



## 一泊ラン大島椿まつりツアー初参加

《 2010年3月12日(金)～14日(日) 》

T C A 会員 石田 徹

大島椿まつりツアーに行ってきた。伊豆大島へは今回が初参加です。そのため全然勝手が分からないまま、金曜日の夜に竹芝栈橋の東海汽船乗場に集合したのですが、皆さん和気あいあいとして、おまけに乗船前には東海汽船の方が挨拶に来られるなど、いい雰囲気での船出となりました。乗船後、早速甲板にあるステージで恒例の宴会が始まりました。焼酎とつまみを手土産に飛び入り参加者も来るなど、楽しい宴会となりました。大体これが恒例でT C Aの伝統の為せる業でしょうか。

翌13日(土)は早朝5時に起床し、下船後 旅館の車で朝海館の別館へ。岡田港からはかなり距離がありますが、別荘風のロッジで各自泊まる所を決めて朝食まで仮眠をとりました。本館で朝食後いよいよ出発です。今回は各自A、B、Cの3コースから希望コースを選択でした。因みにAコースはゆっくり一周 (中級コース)、Bコースは健脚向けコース、



大島公園にて

Cコースはダートを思いつきコース（MTB限定、迫力満点！）という区分けです。私は現地でMTBをレンタルし、Aコースを選びました。出発後、大島公園までは全員一緒に走り、その後コース毎に分かれます。なお、今回は渡辺理事にサポートカーにて後方支援と写真撮影などを頂きました。

今回のツアーは晴天で良かったのですが、一日目は強風が吹き荒れていました。大島公園を後にして高度を上げて行くと、風がどんどん強くなり前輪が宙に浮く感じがします。油断するとハンドルも持っていかれます。後で加藤会長が「爆弾のような風だったな。」と言われたように遮る物がない場所に出ると突如として強烈な風が襲ってきます。これはかなり危ないかと細心の注意で進んで行きましたが、前方で風に乗ってふわりと宙に舞い転倒してしまう場面を実際に目撃して、なお一層心を引き締めました。

途中、波浮港、地層断面(名所)などを通して元町に到着。ここで昼食です。街中を2、3軒物色して、ちょっと外れのラーメン屋さんに決定。我々(12、3名)が入ると超満席です。早速注文の確認を始めると、何と皆さん間髪を入れず「みそラーメン!」「私も!」「私もみそラーメン」・・・。こっ、これは。TCAはみそラーメン愛好者の集まりか?と密かに驚きを隠しながらも新入りの私は、皆さんに合わせて即座に「私も、みそラーメンください!」やっぱり仲間は同じもの食べなくちゃね。後で判ったのですが、皆さんが注文したのは「みそラーメン」ではなく、「いそ(磯)ラーメン」でした。これなら大島ツアーにぴったりの特別メニューですね。

今回の大島椿まつりツアーの目玉の一つに「イセエビ漁業体験」がありました。13日夕方に岡田港の岸壁でイセエビの養殖の説明を聞いてから実際に投網をしました。説明者の白井さんは長髪でメガネを掛けて痩せ型でインテリタイプの方でしたが、以外に説明が上手で話しが面白いので参加者には好評のようでした。

翌日14日早朝6時30分からは網からのイセエビ外しです。私は一番大きいと思われる30cmオーバーの一匹を選んで悪戦苦闘の末、無傷で網から外すことに成功しました。山本さんは十数匹外したそうです。さすが食のプロですね。何とこの海老達が当日の昼食の食卓に各自2匹出るそうです。この後が本当に楽しみです。

この後、朝海館を出てリス村を見学後、三原山山頂まで上りました。その後、私は突然何を心変わりしたのか、磯部さん、倉持さんと一緒に3名で裏砂漠へ行くことにしました。これが大変だった。裏砂漠への途中の道は、携帯電話で藤田さんに確認しながら探して、何とか見つけることができました。さすが裏砂漠、黒い火山岩の砂を軽快に走ることができる所もあれば、まだ大きな尖ったゴツゴツの石ばかりの所もあります。どんどん先に行くと、道がどんどん陰しくなります。わあっ、何だ?これは。雨水で削られたのか、階段状に補強した木の踏み台の下の土砂が流されて枠だけになって透けて先が見えています。これでは自転車を持ち上げて転ばないようにそろそろと通るしかありません。悪戦苦闘の連続です。後日談ですが、我々は裏砂漠を見つけたと思ったのは、一つ手前の「テキサスコース」というルートでした。本当の裏砂漠はもっと気持ちよく走れるみたいです。残念無念。(来年リベンジだ!)

さてさて、朝海館への到着が大幅に遅くなってしまいました。携帯電話で現在位置を連絡していたものの「待っている、俺のイセエビ!」ということで、倉持さんの後ろに付いて、残りの力を振り絞り、減速の激しいMTBを駆って朝海館へ急ぎました。我々が着いた頃には、昼食は殆ど終わり頃でしたが、僕のイセエビ君は他の人の胃袋に入らずに、ちゃんと待っていてくれました。お造りと味噌汁で計2尾。味噌汁は少し冷めていたけれど、空腹も手伝って超超美味です。



元町港にて

最高でした!

今回のツアーでは、大島観光協会や漁協の方からも良くして頂き、TCAの歴史と藤田さんの長年の尽力による人脈を感じることができました。また、帰りの船では地元のおまわりさんや、元町港で夜祭の司会をしていた観光協会の人達も見送りに来ていました。島の人達の観光に掛ける熱意を感じた一瞬でした。最後は初々しい現役高校生のあんこのお姉さんと一緒に紙テープをたなびかせながら別れの挨拶をして帰途に着きました。



